（第三種郵便物認可）

©河北新報社 2010

NIE特集

Newspaper In Education

中山小

学校名　仙台市立中山小学校
所在地　仙台市青葉区中山１の６の１
電　話　022（278）0206
校　長　鈴木　洋
児　童　549人

コメ運んだ生活の道

中山街道と石碑の謎を探れ！

私たちの住んでいる仙台市の北西部、中山地区には「中山街道」が通っています。街道沿いに「山神」「出羽三山」といったいくつかの石碑がありますが、それらの石碑はなぜ作られたのか、中山街道とはどんなことに使われていた道なのかについては分かりませんでした。私たちはこの古道についてもっと知りたくなり、現地を歩いて調べることにしました。

石碑を見ながら、守屋さんに取材

知り隊

馬休め旅の安全祈る

私たちは、中山街道のことをよく知る、地域にお住まいで学校ボランティア巡視員を務める守屋善三さんと一緒に中山街道をたどることにしました。

中山街道は仙台の北山にある羽黒神社と、北部の福岡・根白石地区をつなぐ全長16㌔の古道で、守屋さんは「昔はコメや炭などの生活用品を運ぶ重要な道路だった」と説明してくださいました。

最初に行ったのは、中山2丁目の坂の入り口にある馬頭観世音という石碑です。「馬頭観世音は昔の人が旅に出るとき、馬の安全を祈って建てたもので、往来時は必ずここで馬を休めていた」と言います。

その隣には、畳1畳ほどの大きさの出羽三山碑がありました。これは昔、月山、湯殿山、羽黒山（山形県）の三つの山にお参りに行く時、道中での無事を祈るために作られたものです。

次の石碑に行くまでの坂道を枯松坂と言います。この坂は雨が降ったときに滑りやすくなり、よく往来する人が連れた馬が転倒して骨折したそうです。馬は骨折すると使えなくなるので、馬捨て場という場所に捨てられていました。私たちはなぜか、この坂道を通る時は少し涼しく感じました。

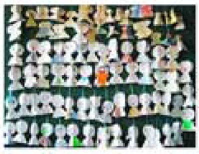
枯松坂を上り、着いたのは山の神石碑です。「昔の人は自然をとても大切にし、さまざまなものを祭り、祈りをささげた」ということです。山の神もその一つで、春には農作、秋には草木、鳥獣の神となったそうです。

◇　◇

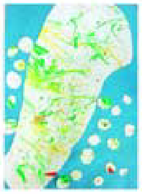
いつもは何げなくこの町で過ごしていましたが、取材をしてみると、私たちの知らないことがたくさんあることが分かりました。今度機会があったら、この中山から終点の福岡・根白石地区まで中山街道を歩いてみたいと思いました。

文・菅原夏子、渡辺朋、西内紫乃、鈴木日向子、高野成、山本はな、平山茉歩、荒木田月菜、早坂茉里（6年）

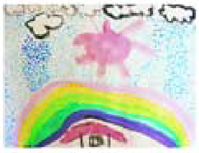
うきうきキャンバス



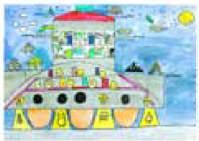
あしたてんきになあれ
1年・共同制作



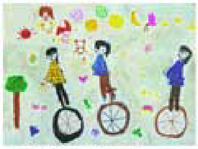
天の川と19の星
4年・小野大輔



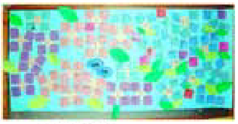
ぼくの天気よほう
2年・荒井共生



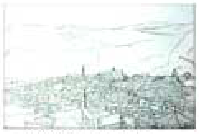
UFOのアパート
5年・永沢諒汰



一りん車ができた
3年・長崎結衣



夏といえば
ひまわり・さくら



学校から見える風景
6年・大出拓哉

教え隊

生き生き中山っ子教室

放課後の楽しい活動

折り紙教室でみんな楽しく（7月）

中山小には、今年で6年目になる「生き生き中山っ子教室」があります。放課後の子どもの居場所づくりのためにつくられました。去年は143教室、のべ2030人が参加しました。

中でも男子に人気があるのは、走ることを楽しむ走友会です。また、折り紙教室やプチ小物教室などは低学年に人気です。

でも子どもたちが楽しんでくれる教室を考えるのは大変なのだそうです。私たちが卒業してもこの活動が続いてほしいです。

文・三浦知也、峯岸昴斗、伊藤真広、庄司里緒、張間汐音、森菜々子（6年）

編集後記

中山街道の取材を通して、中山の昔の様子や石碑にこめられた思いや意味などが分かり、私たちにとってもいい経験になりました。昔の人は、でこぼこの中山の坂道を通るのは大変だったと思います。今は、コンクリートの道になり、バス通りもできて、あまり使わなくなってしまったのは、残念です。

取材したことを、分かりやすく記事にするのは大変でした。読んでくれる人に、中山のことに興味を持ってもらえるよう、何度も話し合いました。この活動を通して、中山のことを一人でも多くの方に知ってもらえるとうれしいです。

〈編集委員〉菅原夏子、渡辺朋、西内紫乃、鈴木日向子、高野成、山本はな、平山茉歩、荒木田月菜、早坂茉里、三浦知也、峯岸昴斗、伊藤真広、庄司里緒、張間汐音、森菜々子、長嶋愛美、平塚彩花、工藤郁（6年）

題字デザイン　鈴木日向子、高野成、山本はな（6年）

〈指導教諭〉熊野信二

言い隊

■夢がかなうといいな■

みなさんは夢を持ったことがありますか？

私は将来、人の役に立てて、たくさんの人とふれあうことができる幼稚園の先生のような仕事をしたいと思います。なぜなら、人の役に立つと自分も相手も気持ちが良くなり、たくさん人とふれあえば友達や知り合いが増えて自分から積極的に話すことができ、すべてが前向きにできると思うからです。

私はこのような夢を持ち毎日を過ごしています。みなさんも夢や目標を持っているとそれに向かって「がんばろう」と思えて、毎日が楽しくなると思います。

夢がかなうといいな。

（6年・長嶋愛美）

■古紙回収すすめよう■

中山小では、代表委員の人たちが使い終わった紙などを回収し、再利用するための活動を行っています。古紙回収は、全クラスに古紙回収箱という箱があって、両面使い終わった紙だけ入れます。片面を使い終わっている紙は、裏に漢字や計算など自主勉強で使えるものをプリントして使っています。

私の家でもなるべく紙を無駄に使わないようにしています。でも、時々まだ使える紙を捨ててしまうことがありますが、「あ！」と思ってまたごみ箱から取り出しています。

古紙回収はリサイクルになります。みなさんもやってみてください。

（6年・平塚彩花）

10月は13日（水）、26日（火）の掲載になります。

これまでの掲載校の紙面を河北新報のホームページ（ＫＯＬＮＥＴ）で見ることができます。